

JF日本語教育スタンダード 開発過程における主要な成果（2010年まで）

【書籍】

国際交流基金（2007）『平成17年度日本語教育スタンダードの構築をめざす国際ラウンドテーブル 会議録』、国際交流基金

———（2009）『JF日本語教育スタンダード試行版』、国際交流基金

【シンポジウム】

国際交流基金日本語国際センター20周年記念シンポジウム「JF日本語教育スタンダード—その活用と可能性—」（第15回海外日本語教育研究会）、2009年10月4日

<<http://jstandard.jp/publicdata/ja/event/091004.html>>

三原龍志「JFスタンダードの概要」

三矢真由美「JF日本語教育スタンダードの試行を通じた初級講座シラバスの見直し—教師の協働によるコース改善—」

大田祥江「上級コースにおける教師と学習者の学習目標の共有と教師の内省」

石井容子、熊野七絵「体験交流活動を中心としたコースにおける自律学習支援とポートフォリオ」

金孝卿、来嶋洋美「Can-doを活用した作文活動のポートフォリオ評価の試み—実践と課題—」

石司えり「全体のまとめ及びJFスタンダード第1版について」

（司会：古川嘉子、全体ディスカッション：島田徳子、モデレーター：伊東祐郎）

【論文】

塩澤真季、石司えり、島田徳子（2010）「言語能力の熟達度を表すCan-do記述の分析—JF Can-do作成のためのガイドライン策定に向けて—」『国際交流基金日本語教育紀要』第6号、23-39、国際交流基金

【口頭発表・講演】

高偉建、八田直美（2009）「中国大学教師研修における日本語と専門科目—JF日本語教育スタンダードへの視点」パネルセッション「JF日本語教育スタンダードの開発と運用」、JSAA-ICJLE2009、国際研究大会

塩澤真季、島田徳子、石司えり、小松知子、金孝卿、渡辺愛、西森年寿（2009）「Can-doを活用した日本語教育支援ツールの設計」『日本教育工学会第25回全国大会講演論文集』、717-718

島田徳子（2009）「JF日本語教育スタンダードが目指すもの—その理念と開発過程—」『神戸大学留学生センター第22回「コロッキアム」報告書：日本語教育における評価と到達目標—日本語教育スタンダードを考える—』、15-24、神戸大学留学生センター

島田徳子、古川嘉子、三原龍志、塩澤真季、亀山知美、真鍋一史、伊東祐郎、平高史也、中原淳（2008）「CEFR能力記述文に基づいた日本語能力記述の検討」『日本教育工学会第24回全国大会講演論文集』、595-596

島田徳子、森本由佳子（2010）「Can-doを活用した日本語教育支援ツールの開発」、ATJ 2010 Annual Conference

石司えり、島田徳子、古川嘉子、三原龍志、塩澤真季（2009）「『ドイツ語プロフィール（"Profile deutsch"）』の分析から日本語能力記述への示唆」『日本語教育学会平成21年度春季大会予稿集』、121-126

石司えり、向井園子（2009）「ポートフォリオとその利用—European Language Portfolioの分析とJFポートフォリオの開発—」パネルセッション「JF日本語教育スタンダードの開発と運用」、JSAA-ICJLE2009、国際研究大会

古川嘉子（印刷中）「『日本語教育スタンダード』の役割—JF日本語教育スタンダードの構築を通して—」、パネルディスカッション：「『日本語教育スタンダード』について考える」『ヨーロッパ日本語教育』14、ヨーロッパ日本語教師会

古川嘉子、島田徳子（2008）「国際交流基金、国立国語研究所の取り組み：JF日本語教育スタンダードの開発と運用」、パネルセッション「日本語教育スタンダードの構想」『日本語教育振興協会ニュース』No.103、39-46、財団法人日本語教育振興協会

古川嘉子、島田徳子、塩澤真季、亀山知美、真鍋一史、伊東祐郎、平高史也（2008）「JF日本語教育スタンダードの構築と調査—日本語教育現場の実践を踏まえたCan Do記述の開発—」『第7回日本語教育国際研究大会予稿集』3、

269-272

古川嘉子、島田徳子、三原龍志、塩澤真季（2009）「JF日本語教育スタンダード試行版と現場の協働」、パネルセッション「JF日本語教育スタンダードの開発と運用」、JSAA-ICJLE2009、国際研究大会

古川嘉子、堀恵子（印刷中）「『国際交流基金日本語教育スタンダード』の構築・『日本語能力試験』の改定、及びその連携」『ヨーロッパ日本語教育』14、ヨーロッパ日本語教師会

三原龍志（2009）「教えること、学ぶこと：JF日本語教育スタンダードは「連携」にいかにかに寄与するか」、ラウンドテーブル「『留学生30万人計画』時代の日本語学校教育」『日本語教育振興協会ニュース』No.108、12-16、財団法人日本語教育振興協会

〔ワークショップ・研修〕

三原龍志、塩澤真季 「ポートフォリオ評価」、インターナショナルスクール日本語教師会、2009年4月25日

金孝卿、島田徳子 「Can-doを利用した作文活動のポートフォリオ評価を考える」、日本語教育研修会、神田外国語大学留学生別科主催、2009年11月19日

島田徳子、石司えり 「Can-do Statements を深く理解する—CEFRとJF日本語教育スタンダードを通して—」、AJALT金曜セミナー、社団法人国際日本語普及協会主催、2009年11月20日

*最新の成果等は「JF日本語教育スタンダード」ウェブサイトをご覧ください。http://jfstandard.jp

主要な参考文献

ARCLE編集委員会、田中茂範（編）（2005）『ECF：幼児から成人まで一貫した英語教育のための枠組み』、リーベル出版

伊東祐郎（2006）「評価の観点から見た日本語教育スタンダード」『日本語学』vol.25、18-25、明治書院

Council of Europe（2004）『外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠』、初版第1刷、吉島茂、大橋理枝（訳、編）、朝日出版社

嘉数勝美（2005）「日本語教育スタンダードの構築—第1回国際ラウンドテーブルの成果から—」『遠近 第6号』36-41、国際交流基金

———（2006）「ヨーロッパの統合と日本語教育—CEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）をめぐる—」『日本語学』vol.25、46-58、明治書院

鎌田修・嶋田和子・迫田久美子（編）（2008）『プロフィシェンシーを育てる～真の日本語能力をめざして～』、凡人社
国際交流基金（2006）『国際交流基金 日本語教授法シリーズ1 日本語教師の役割／コースデザイン』、ひつじ書房

———（2008）『国際交流基金 日本語教授法シリーズ14 教材開発』、ひつじ書房

国際交流基金、日本国際教育支援協会（2009）『新しい「日本語能力試験」ガイドブック』

シャクリー、B.D.、N.バーバー、R.アンブローズ、S.ハンズフォード（2001）『ポートフォリオをデザインする—教育評価への新しい挑戦—』、田中耕治（監訳）、ミネルヴァ書房

田中耕治（2008）『教育評価』、岩波書店

田中真理・長阪朱美（2006）「第二言語としての日本語ライティング評価基準とその作成過程」、『第2言語としての日本語ライティング評価基準とその作成過程—国立国語研究所編—世界言語テスト』、253-276、くろしお出版

谷口すみ子（2003）「日本語能力とは何か」青木直子・尾崎明人・土岐哲（編）『日本語教育を学ぶ人のために』、世界思想社

當作靖彦（1999）「アメリカの外国語教育における評価の動向—代替評価法を中心として—」『平成11年度日本語教育学会秋季大会予稿集』17-27、日本語教育学会

平高史也（2006）「言語政策としての日本語教育スタンダード」『日本語学』vol.25、6-17、明治書院

牧野成一・鎌田修・山内博之・齊藤真理子・荻原稚佳子・伊藤とく美・池崎美代子・中島和子（2001）『ACTFL-OPI入門』、アルク

村野井仁（2007）『第二言語習得研究から見た効果的な英語学習法・指導法』、大修館書店

- 横溝紳一郎 (2000) 「ポートフォリオ評価と日本語教育」『日本語教育』107号、105-114、日本語教育学会
- 和田朋子 (2004) 「TUFSS言語能力記述モデル開発のための試み：Common European Framework (of Reference for Languages) の考察 (第二言語の教育・評価・習得)」『言語情報学研究報告5』89-102、東京外国語大学
- Bachmann, Lyle F. (1990) *Fundamental Considerations in Language Testing*. Oxford University Press.
- Bachmann, Lyle F. and Adrian S. Palmer (1996) *Language Testing in Practice Designing and Developing Useful Language Tests*. Oxford University Press.
- Byram, Michael (1997) *Teaching and Assessing Intercultural Communicative Competence*. Multilingual Matters Ltd.
- (2008) *From Foreign Language Education to Education for Intercultural Citizenship. Essays and Reflection*. Clevedon: Multilingual Matters.
- Canale, M. and Swain, M. (1980) Theoretical bases of communicative approaches to second language teaching and testing. *Applied Linguistics*, 1; 1-47
- Council of Europe (2001) *Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment*. Cambridge: Cambridge University Press.
- (2009) *Relating Language Examinations to the Common European Framework of Reference for Languages: Learning, Teaching, Assessment (CEFR): A Manual*. Council of Europe Language Policy Division.
- Glaboniat, Manuela, Martin Müller, Paul Rusch, Helen Schmitz and Lukas Wertenschlag (2005) *Profile deutsch. Niveau A1-A2・B1-B2・C1-C2*. Berlin: Langenscheidt Verlag.
- Lenz, Peter and Günter Schneider (2004) *A bank of descriptors for self-assessment in European Language Portfolios*. Strasbourg: Council of Europe.
- Little, David (2006) The Common European Framework of Reference for Languages: Content, Purpose, Origin, Reception, and Impact. *Language Teaching*, 39: 3, 167-190
- Hamp-Lyons, Liz and William Condon (2000) *Assessing the portfolio : principles for practice theory and research*. Cresskill, NJ; Hampton Press.
- North, Brian (2000) *The Development of a Common Framework Scale of Language Proficiency*. New York: Peter Lang.
- (2007) *The CEFR Common Reference Levels: Validated Reference Points and Local Strategies*. Intergovernmental Policy Forum “The Common European Framework of Reference for Languages (CEFR) and the development of Language Policies: Challenges and Responsibilities.” Council of Europe Language Policy Division.
- Weigle, Sara C. (2002) *Assessing Writing*. Cambridge: Cambridge University Press.

〈参考ウェブサイト〉

- 青木直子 (2007) 「日本語ポートフォリオ」 <<http://www.let.osaka-u.ac.jp/~naoko/jlp>> (2010年3月12日最終アクセス)